

基幹ロケット高度化の推進

1. 創設年度：平成25年度

2. 令和6年度予算額：32.4億円

3. 事業概要

世界トップレベルの優れた運用成果を挙げてきた我が国の基幹ロケットについて、自立的な宇宙空間への物資輸送能力を維持・向上していくため、より多様なミッションへの対応能力、ペイロード（衛星など）の搭載環境の向上等を行う。＜補助＞

4. 選定理由：イ（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

本事業については、我が国の宇宙活動の自立性確保や国際競争力強化などの観点から政策的優先度が高く、これまでの成果や取組状況が、事業目的に照らして適切なものとなっているかなどの点について、公開の場で外部有識者の幅広い視点や専門性を活用して検証することで、今後の事業展開について検討していくことが有効であると考えたため。

5. 想定される論点

- ・事業をより効果的に展開するための今後の方針と在り方について。
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和5年度）

（短期アウトカム）・標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合。（％）

（長期アウトカム）・標準評価（B評価）以上の評価を受けた項目の割合。（％）

目的・概要

- 宇宙基本計画（令和5年6月13日閣議決定）の政策に基づき、ロケット打上げ市場の競争環境等の動向を踏まえた基幹ロケットの効果的・効率的な維持・向上を推進。海外を中心として宇宙輸送を取り巻く環境が大きく変化する中、将来にわたって宇宙へのアクセスに対する自立性を確保し、拡大する宇宙利用に対応していくためには、基幹ロケットの国際競争力の維持・向上が必要。
- そのため、より多様なミッションへの対応能力、ペイロード（衛星など）の搭載環境の向上等を行う。



取組

H-IIAロケット

我が国の基幹ロケットであるH-IIAロケットを確実に運用していくために不可欠な製造用治工具等の更新を行う。

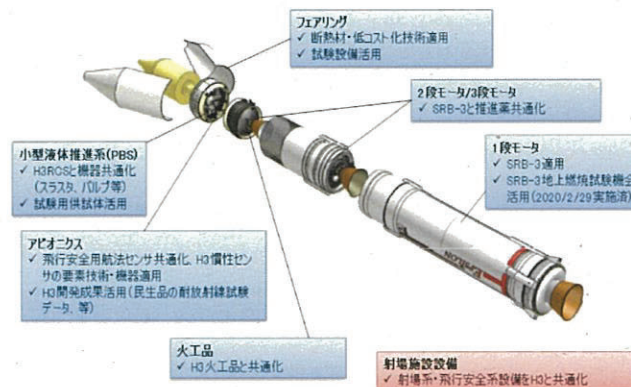
H3ロケット

H3ロケットの運用を早期に安定させることを目的として、以下のような成熟度向上活動や治工具の更新等を行う。

- 不具合や課題の兆候を抽出するための飛行後データ解析、エンジン試験データ解析
- 世界で標準的に実施されている打上げ前の衛星状態モニタのための無線モニタ機能の整備
- 顧客の衛星形態（特にコンステレーション）に応じて多様な打上げが可能となるような衛星分離構造の開発
- 低コスト化を目指した大型3D造形装置の整備 等

イプシロンSロケット

これまでイプシロンロケットの開発で蓄積してきた固体ロケットシステム技術をさらに発展させるため、H3ロケットとのシナジー対応開発として、総合システム開発、推進系開発、構造系・アビオニクス系開発等を行う。



イプシロンSロケット



H-IIAロケット

H3ロケット

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	基幹ロケット高度化の推進			担当部局庁	研究開発局	作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 上田 光幸	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第十八条			関係する 計画、通知等	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第4期中長期計画 宇宙基本計画(令和5年6月13日閣議決定) 等		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseik02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	宇宙基本法(平成20年法律第43号)に基づき作成される「宇宙基本計画」の施策を推進するために、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が実施する基幹ロケットの打ち上げ能力の向上等のための技術開発の取り組みを推進するために要する経費に対して補助を行い、もって宇宙輸送システムに関する国の責務の遂行に寄与することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	宇宙基本計画(令和5年6月13日閣議決定)の政策に基づき、ロケット打上げ市場の競争環境等の動向を踏まえた基幹ロケットの効率的・効率的な維持・向上を推進している。海外を中心として宇宙輸送を取り巻く環境が大きく変化する中、将来にわたって宇宙へのアクセスに対する自立性を確保し、拡大する宇宙利用に対応していくためには、基幹ロケットの国際競争力の維持・向上が必要となる。						
事業概要 (5行程度以内)	世界トップレベルの優れた運用成果を挙げてきた基幹ロケットについて、我が国の自立的な宇宙空間への物資輸送能力を維持・向上していくため、より多様なミッションへの対応能力、ペイロード(衛星などの搭載環境の向上等)を行う。【補助率:定額】						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	6,083	3,356	3,993	681	7,427
			-	3,674	9,415	-	
		前年度から繰越し(C)	1,340	770	2,780	8,711	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 770	▲ 2,780	▲ 8,711	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6,653	5,020	7,477	9,392	7,427
		執行額(G)	6,652	5,020	7,477		
		執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	109%	71%	56%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			令和5年6月13日に閣議決定された宇宙基本計画について、その工程表に沿った開発を着実に進めるために所要の経費を計上しているもの。 重要政策推進枠 2,459百万円		
	(目)	基幹ロケット高度化推進費補助金	681	7,427			
		その他	0	0			
	計(A)		681	7,427			

活動内容① (アクティビティ)	基幹ロケットに関する国内外の衛星打上げ計画への確実な対応								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	宇宙基本計画工程表に示された政府衛星の確実な打上げ	我が国の宇宙活動の自立性の確保のため、宇宙基本計画工程表に基づき、政府衛星の着実な打上げを行ったか。	活動実績	回	2	2	1	-	-
			当初見込み	回	3	3	6	7	9
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき各年度の業務実績に対して評価がなされているため。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による各年度ごとの業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(Ｂ評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	-	-	
	(※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けている。	(※)令和4年度成果実績については、主務大臣評定に係る調整を共管府省と継続しているところであり、評価結果が確定していることから「-」としている。	目標値	%	100	100	100	100	
			達成度	%	100	100	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務の実績に関する評価」より								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (長期アウトカム からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき中長期目標の期間における業務実績に対して評価がなされているため。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度	
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による中長期目標期間における業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(Ｂ評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	-	-	-	-	
	(※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けている。	(※)第4期中長期目標期間(2018年度～2024年度)実績については、評価結果が確定していないことから「-」としている。	目標値	%	-	-	-	100	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	-								

活動内容② (アクティビティ)	基幹ロケットに関する国内外の衛星打上げ計画への確実な対応									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	ロケット打上げサービスの国際競争力 に向けた信頼性向上	基幹ロケット(H-II A・Bロケット、 イプシロンロケット)の打上 げ成功率(累積)	活動実績	%	98.2	98.3	95.2	-	-	
			当初見込み	%	-	-	-	-	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき各年度の業務実績に対して評価がなされているため。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による各年度ごとの業務実績の 評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 〔※〕主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推 進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成 に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロ ジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けてい る。 〔※〕令和4年度成果実績については、主務大臣評定に係 る調整を菅内閣府と継続しているところであり、評価結 果が確定していることから「-」としている。	成果実績	%	100	100	-	-	-		
		目標値	%	100	100	100	100	100		
		達成度	%	100	100	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務の実績に関する評価」より									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (長期アウトカム からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき中長期目標の期間における業務実績に対して評価がなされているため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度		
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による中長期目標期間における 業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を 受ける。 標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 〔※〕主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推 進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成 に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロ ジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けてい る。 〔※〕第4期中長期目標期間(2018年度～2024年度)実績 については、評価結果が確定していないことから「-」と している。	成果実績	%	-	-	-	-	-		
		目標値	%	-	-	-	-	100		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
	-									

活動内容③ (アクティビティ)	基幹ロケットに関する国内外の衛星打上げ計画への確実な対応									
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	ロケット打上げサービスの国際競争力 に向けた信頼性向上	基幹ロケット(H-IIA・H-II Bロケット)のオンタイム打上げ成功率(天候またはペイロード等ロケット以外の機体不具合起因による延期を除く) ※最近5年間の実績	活動実績	%	76.5	73.3	72.7	-	-	
			当初見込み	%	-	-	-	-	-	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき各年度の業務実績に対して評価がなされているため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による各年度ごとの業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 〔※〕主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けている。	成果実績	%	100	100	-	-	-		
		目標値	%	100	100	100	-	100		
		達成度	%	100	100	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和4年度における業務の実績に関する評価」より									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	基幹ロケットの打上げについて、主務大臣により、独立行政法人通則法に基づき中長期目標の期間における業務実績に対して評価がなされているため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度		
	独立行政法人通則法に基づき主務大臣による中長期目標期間における業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 〔※〕主務大臣からの業務実績の評価のうち、基幹ロケット高度化の推進事業については、平成30年度からは、「宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3. 宇宙政策の目標達成に向けた手続プロジェクトの実施」「3. 9. 宇宙輸送システム」において評価を受けている。	成果実績	%	-	-	-	-	-		
		目標値	%	-	-	-	-	100		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
	-									

事業に関連するKPIが定められている開離決定等	名称	-
	URL	-
	該当箇所	-

事業所管部局による点検・改善

点検結果	<p>・基幹ロケットの高度化については、当初開発時に選定した事業者が有する知見が必要となる場合など、競争的に事業者を選定することは困難なものもあるが、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。</p> <p>さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進の取組をおこなっている。</p> <p>・独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価において、宇宙輸送システムは標準以上の評価を受けるなど、着実に成果を出している。</p>	目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)
	改善の方向性	<p>契約の競争性、公平性、透明性を確保する観点から、引き続き、入札公告前のチェックシートを用いた競争性確保の自己点検、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進に努めていく。</p>

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

現状通り	この事業は事業所管部局による自己点検及び行政事業レビュー推進チームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。
------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	-
------	---

公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ

過去に受けた指摘事項と対応状況	-												
	-												

上記への対応状況

過去に受けた指摘事項と対応状況	-												
	-												

その他の指摘事項

過去に受けた指摘事項と対応状況	-												
	-												

上記への対応状況

過去に受けた指摘事項と対応状況	-												
	-												

備考

-													
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-												
平成24年度	-												
平成25年度	-												
平成26年度	26-0295												
平成27年度	27-0285												
平成28年度	28-0282												
平成29年度	288												
平成30年度	264												
令和元年度	文部科学省	-		0258									
令和2年度	文部科学省			0260									
令和3年度	2021	文科	20	0282									
令和4年度	2022	文科	21	0286									

文部科学省
7,477百万円

事業概要
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構が実施する基幹ロケットの打ち上げ能力の向上等のための技術開発の取り組みを推進するために要する経費に対して補助。

※差額は国庫に返納済み

〔交付〕

【A】

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
7,473百万円

事業概要
国産ロケットの高度化開発等。

【随意契約(企画競争)等】

【B】

民間企業等(13社)
7,473百万円

事業概要
国産ロケットの高度化開発等。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	国産ロケットの高度化開発等	7,473	役務	イプシロンSロケット ロケットシステム開発	3,778	
計		7,473	計		3,778	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	9012405001241	国産ロケットの高度化開発等	7,473	補助金等交付	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	イプシロンSロケット ロケットシステム開発を行う 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間: 2020年度~2022年度	3,778	その他	-	-	-
2	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ロケット専用治工具等の維持(その14のウ)を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度~2021年度	142	その他	-	-	-
3	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ロケット専用治工具等の維持(その15のウ)を行う	59	随意契約(その他)	-	-	-
4	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	【注】決定前経理部E1(イプシロン)ロケット4、5、6号機の製作及び検査整備作業を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2019年度~2022年度	22	その他	-	-	-
5	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	種子島宇宙センター 非破壊試験機設備 維持管理運用作業 2021~2023年度 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度~2023年度	3	その他	-	-	-
6	三菱重工工業株式会社	8010401050387	H3ロケット信頼性評価を行う	1,069	随意契約(その他)	-	-	特定の技術または設備を有する者以外にはできない契約
7	三菱重工工業株式会社	8010401050387	H3 ロケット射点設備の整備(そのアの2)を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度~2021年度	501	その他	-	-	-
8	三菱重工工業株式会社	8010401050387	田代試験場 高圧短秒時燃焼試験設備 LE-9エンジン対応改修を行う	200	随意契約(その他)	-	-	-
9	三菱重工工業株式会社	8010401050387	H3ロケット 機体システム開発を行う 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間: 2014年度~2022年度	195	その他	-	-	-
10	三菱重工工業株式会社	8010401050387	田代試験場 常圧燃焼試験設備の老朽化更新を行う	94	随意契約(その他)	-	-	-
11	三菱重工工業株式会社	8010401050387	M型ロケット発射装置(イプシロンロケット対応)のイプシロンS対応改修作業を行う	73	随意契約(その他)	-	-	-
12	三菱重工工業株式会社	8010401050387	田代試験場 常圧燃焼試験設備 設備バルブの更新他を行う	18	随意契約(その他)	-	-	-
13	三菱重工工業株式会社	8010401050387	ロケット専用治工具等の維持(その15のア)を行う	10	随意契約(その他)	-	-	-
14	株式会社IHI	4010601031604	H3ロケット1段エンジンの開発ターボポンプを行う 契約時契約方式【随意契約(公募)】	570	その他	-	-	-
15	日本電気株式会社	7010401022916	ロケットテレメータ受信設備(国内局)イプシロンSロケット対応改修を行う	22	随意契約(その他)	-	-	-
16	日本電気株式会社	7010401022916	イプシロンSロケット開発に係る発射回線設備の改修を行う	19	随意契約(その他)	-	-	-
17	日本電気株式会社	7010401022916	2022年度イプシロンSロケット対応衛星電源試験用管制設備改修に係る現地調査を行う	3	随意契約(その他)	-	-	-
18	三菱電機株式会社	4010001008772	追跡管制ネットワークシステム イプシロンSロケット追尾機能付改修を行う	126	随意契約(その他)	-	-	-
19	株式会社日立製作所	7010001008844	FY2022~FY2023種子島宇宙センター非破壊試験設備の更新を行う	110	随意契約(その他)	-	-	-
20	NECスペーステクノロジー株式会社	1012401010393	冗重機金銀システム(RNS)の開発を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2019年度~2020年度	92	その他	-	-	-
21	日油株式会社	1011001025967	FY2021 固体推進薬充填設備の老朽化更新を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2021年度~2022年度	68	その他	-	-	-
22	日油株式会社	1011001025967	FY2022 固体推進薬充填設備の老朽化更新を行う	21	随意契約(その他)	-	-	-
23	株式会社エー・アンド・デイ	-	田代試験場 常圧燃焼試験設備 計測装置の製作を行う	84	随意契約(その他)	-	-	-
24	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	イプシロンSロケット打上作業管理システム(4.0)の開発(その1)を行う 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間: 2020年度~2021年度	27	その他	-	-	-
25	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	冗重機金銀システム(RNS)イプシロンS対応 射点電源設備の整備を行う 契約時契約方式【随意契約(公募)】契約期間: 2021年度~2022年度	8	その他	-	-	-
26	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	射点電源ケーブルイプシロンSロケット対応改修を行う 契約時契約方式【随意契約(公募)】契約期間: 2021年度~2022年度	5	その他	-	-	-
27	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2022年度 基幹ロケット打上げに係る射場系射場整備作業を行う	2	随意契約(公募)	1	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	